

第5回 安芸高田市総合計画審議会 議事録

第5回 安芸高田市総合計画審議会	
日時	2025年8月8日(金) 午後1時から午後3時
場所	安芸高田市民文化センター クリスタルアージュ 小ホール
出席者	別途委員一覧参照
資料	<p>【資料1】 前回審議会における委員主要意見とその対応方針</p> <p>【資料2】 今後のスケジュール</p> <p>【資料3】 第3次安芸高田市総合計画基本構想(確定案)</p> <p>【資料4】 第3次安芸高田市基本計画の整理方法</p> <p>【資料5】 第3次安芸高田市総合計画基本計画(たたき台)</p> <p>【資料6】 第3次安芸高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略(重点PJ)の整理方法</p> <p>【資料7】 第3次安芸高田市まち・ひと・しごと創生総合戦略(たたき台)</p> <p>【資料8】 第3次安芸高田市総合計画序論(たたき台)</p> <p>【資料9】 安芸高田市人口ビジョン(たたき台)</p> <p>【別紙1】 A委員からの意見提出</p> <p>【別紙2】 A委員の意見を踏まえた修正方針</p> <p>【参考資料1】 外国人アンケート調査結果</p> <p>【参考資料2】 製造業に従事する通勤者アンケート調査結果</p> <p>【参考資料3】 基本構想の各目標指標に対する基本計画の各目標指標の関係性</p>

発言者	議事内容
<p>会長</p> <p>事務局</p> <p>会長</p> <p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>〈今後のスケジュール〉【資料2】</p> <p>当初は、本日の第5回審議会は8月下旬に予定していたものを少し前倒ししたということだと思っておりますが、これには何か意味があるのでしょうか。</p> <p>9月の議会の上程を目指し、若干前倒ししてご審議いただく形を取りました。</p> <p>9月議会は、いつから開会予定ですか。</p> <p>まだ正確な日程は発表されておりません。おおよそ9月の5日前後くらいから始まり、9月の下旬までという概ね1か月程度の日程の予定です。</p> <p>それでは、本日が第5回ということで、会議は残り2回となります。第6回が10月の中旬に、そして最終の第7回が12月下旬ということで、本日を含め、あと3回議論していただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p> <p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>〈前回審議会における委員主要意見とその対応方針〉【資料1】</p> <p>〈A委員からの意見提出〉【別紙1】</p> <p>〈A委員の意見を踏まえた修正方針〉【別紙2】</p> <p>〈第3次安芸高田市総合計画基本構想(確定案)〉【資料3】</p> <p>基本構想の最終形は別紙2という理解で良いのでしょうか。</p> <p>最終形は、別紙2です。</p> <p>別紙2は、前回いただいた意見を反映した資料3を踏まえて、さらにA委員の意見を</p>

	踏まえたものが別紙2なので、別紙2が最終版だということですね。
B 委員	別紙2の9ページ、「将来像」のところの文言ですが、「守っていきたい地域暮らしの機能と維持・確保」というところの次の行に「医療・診療施設」とあります。これは正式な表現ですか。実際、医療施設の種別として、病床数によって病院と診療所とで意味が異なりますが、「医療・診療施設」という文言だと同義になるのではないですか。あえてこの表現を選んだことに理由はあるのですか。
事務局 会長	深い意味を持たせてこのような言葉を使用したわけではありません。 他のところにも医療系の話で、この「医療・診療施設」というものが出てくる箇所がありますか。
C 委員 会長	医療というのは介護とかも含めることになると思います。 診療施設といえば、歯科も入ると思います。ベッドがないところは診療施設と言いますが、それを分けて何か意味があるのかないのか教えてください。
事務局	アンケートの段階では、「医療・診療施設」という選択肢として尋ねました。
会長	別紙1の、基本構想のところ、「らしさが何であるかの定義、市民間での腹落ちは必須」とあります。この意見は「らしさ」の定義ではなくて、「安芸高田らしさ」というのはどういう意味なのかというのを市民間で腹落ちすることが必須だと理解したのですが、事務局はこの文書をどう把握されたかというのをコメントいただけますでしょうか。
事務局	先ほどの説明では、「らしさ」をどう定義するかということに特化して説明させていただきましたが、「市民間での腹落ち」という部分も重要だと捉えています。9ページに、「肯定的関心」、「行動」、「共有」という言葉がありますが、この言葉はまちづくりシンポジウムの中で実際に市民の方から出てきたキーワードです。シンポジウムで皆さんと共有したということで、一定のコンセンサスは得られているという理解でした。こちらの対応の部分について、先ほどご説明はできていませんでした。 また、「らしさ」の部分で、「人々が行き交い、歴史・文化や多様な価値観がまざりあうまち。」、「若者を始め、多くの市民が新たにチャレンジするまち。」、「お互いの生き方や価値観を尊重し、対話の中で解決や決定がおこなわれるまち。」という部分は、市民アンケート調査結果から導き出しており、市民意見を踏まえているという部分で合意を得ているという解釈で読み取らせていただきました。
会長	9ページの「人々が行き交い、歴史・文化や多様な価値観がまざりあうまち。」、「若者を始め、多くの市民が新たにチャレンジするまち。」、「お互いの生き方や価値観を尊重し、対話の中で解決や決定がおこなわれるまち。」という3行の部分について、これが5ページ目、6ページ目にどう表現されているのか、つながりを整理して説明していただけますか。
事務局	5ページが、「受け継いでいきたい安芸高田市らしさ」ということで、いろいろな団体へのヒアリングや子育て世代を対象としたワークショップ、市民アンケート、

シンポジウム等を開催し、その結果からどのような「らしさ」が見えてきたかということ、5ページ、6ページで整理しています。

5ページの「地域の多様性、多様な価値観・人材が調和」という部分では、市民アンケート調査結果から、「田舎の原風景、都会では得られない」という、これが次世代に受け継いでいきたい安芸高田市らしさとして見えてきました。「シンポジウムを通じて、安芸高田市の魅力を再認識できた」という回答があり、市街地と田園地帯がとけあう、暮らしやすいまちというものが「らしさ」なのではないかということ整理をしています。

「新しい社会・地域の変化に対応でき、若者を含むみんなのチャレンジを応援」という部分では、次世代に受け継いでいきたい安芸高田市らしさとして、「新しい社会・地域の変化に対応できるまち」が世代に関わらず上位の回答割合を占めていました。

中高生のアンケート調査結果では、「若者の価値観やチャレンジを応援できるまち」と回答する割合も高かったです。シンポジウムでも高校生が提案した内容もあって、チャレンジを応援する、そういった状況が「らしさ」に繋がるという整理をしています。

6ページ目が、「自分らしく生きていける環境づくりと相互理解のための対話」という部分で、こちらについても、自分らしく生きていける環境を受け継いでいきたいということが上位の回答を占めていました。

シンポジウムでも、世代・立場を超えた対話を通して、それぞれの価値観を共有し、他者の発表や意見に当事者意識を持って受け止めている光景が見受けられ、まさに「一人ひとりの想いを形にできるまちであって欲しい」というコメントもいただいたところです。

これらを、「とけあう」、「芽ぶく」、「一つに就る」というキーワードで表現させていただき、「とけあい、芽ぶき、一つに就る」と総括した形です。

アンケート調査結果に基づいて、このような傾向が見られたという書きぶりになっていましたので、改めて9ページで再整理しているという形です。基本的には5ページ、6ページに出てきた内容が9ページに盛り込まれているという流れになります。

構造は分かりました。問題は2つあって、1つ目は、この結論に関して、皆さんは腹落ちしますか、ということなんです。正直、抽象的で私はよく分かりません。

アンケートで結果が出たためと言われれば理解はできるのですが、もう少し書きぶりがあるのではと思います。

また、5ページ目から6ページ目にかけて「とけあう」、「芽ぶく」、「一つに就る」という3つの文言があります。

一方で、6ページ目の「とけあい、芽ぶき、一つに就る。」という文章の後は、「肯定的関心」と「行動」と「共有」に関する文章が3つありますが、これはなぜ5ページの説明の文言と変わっているのか理解できません。

例えば「とけあう」といえば、5ページ目だと「地域の多様性、多様な価値観・人材が調和」と書いてあって、6ページ目では「人々が行き交い、歴史・文化や多様

会長

事務局	<p>な価値観がまざりあうまち。」と書いてあります。このように、5ページの説明と6ページの説明で違う文章になっているのはなぜなのでしょう。</p> <p>改めて整合を図ります。</p>
C委員	<p>先ほどの「医療・診療施設」という項目について、正しくは「医療・介護」だと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>アンケートの中で介護については尋ねているのですか。</p>
事務局	<p>高齢者福祉施設という選択肢で書かせていただいています。</p>
会長	<p>では、これは修正の必要はありませんね。</p>
B委員	<p>9ページの「将来像」の説明の中で、「～高かったです」という言い回しがあります。形容詞に過去形が続いて「です」という丁寧語でくくる言い回しは新聞ではありません。日本語として、い形の形容詞の過去形と丁寧語がつく表現は、違和感があります。あまり公的文書に使わないような気がするのですが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>修正をさせていただきます。</p>
会長	<p>ちなみに大学では、「～高かったです」という表現を、「タラちゃん言葉」といいます。サザエさんに出てくるタラちゃんのことですが、それは駄目と私は指導しています。「～高かったです」ではなくて、「高いことが明らかになりました」等の言い回しに変えるようにと、いつも学生には言っているので参考にいただければと思います。</p>
事務局	<p>先ほどの「とけあう、芽ぶく、一つに就る」という文言の腹落ち感を事務局としてどう捉えているか、についてです。</p> <p>アンケートやフォーラムの結果から出てきた大事な価値観という点では重要なポイントだと捉えています。</p> <p>ただ、6ページで、「とけあい、芽ぶき、一つに就る」と、ひとつに繋がった言葉になると腹落ちしにくい点であると感じました。</p> <p>大事なポイントとなる20年後も受け継いでいきたいものとして、それぞれ「とけあう」、「芽ぶく」、「一つに就る」と挙げることは問題ないと思いますが、1つの言葉にまとめてしまうことについては、一議論の部分であると感じます。</p> <p>6ページの「～以下のとおり整理しました」という部分をいったん無くし、その後、これらが大事なものとして、具体的にどのようなことをやっていくかという基本構想として、その後同じ流れで上手くつながれると感じます。</p> <p>したがって、「とけあう」、「芽ぶく」、「一つに就る」それぞれの文言はそのまま生かし、1にまとめる部分を落とすというような形が腹落ちにつながるかと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
会長	<p>「とけあう、芽ぶく、一つに就る」という言葉がいろいろなところから出てきてしまっているので、その辺が分かりにくいと感じます。ご指摘のように少し整理をし</p>

	<p>ていただければ、問題ないと思います。</p>
会長	<p>別紙1の2つ目の指摘事項について、対応する箇所が別紙2の8ページ内④かと思うのですが、これは、「守っていききたい」というのが何に対してかよく分からないということなのかと私は理解しました。これを字面どおり捉えると、「守っていききたい地域の暮らしの機能の維持」と書いてありますが。事務局はどう捉えて、どう対応されたのでしょうか。</p>
事務局	<p>「守っていききたい」という言葉がないと、全ての暮らしの機能を維持するという表現とも捉えられるため、「守っていききたい」という言葉は残す前提です。例えば人口減少に伴う財政縮小時代で全ての機能を維持していくことは困難であるため、アンケート調査結果で、より残していききたいということを明確化しました。したがって、「守っていききたい」という表現はそのまま使わせていただきたいという対応をしていました。</p>
会長	<p>これはまだA委員の確認を取っていないですよ。A委員の趣旨はちゃんと把握はされているという理解でいいのですか。A委員がこの提示された内容については、事務局がしっかりと理解して、それについて対応しているということでしょうか。</p> <p>私が読む限りでは、対応されている内容がA委員のおっしゃっている内容と違うのではないかと思います。例えば、別紙2の3つ目の項目について、A委員は「機能」という言葉に引っかかっているのかと私は思っています。まちの魅力を生む「施設」ではなくて「機能」なのかということです。</p> <p>説明の中で道の駅を例に出されましたが、その場合「施設」ではないでしょうか。まちの魅力を生む「施設」の強化でいいはずなのに、なぜ、「機能」という言葉を使っているのですか、ということが、A委員のご意見なのかと思いましたが、私の勘違いなのかもしれません。そのあたりを教えていただければと思います。</p>
事務局	<p>アンケート内では具体的な施設を選択肢としてしまっているため、そのような指摘になるかと思います。ただ、20年後に、ずっと守っていききたいものが施設であるかどうかは分かりません。インターネットの世界がどのように発展していくかと考えたときに、具体的な場所である必要もなくなってくる可能性があるため、あえて「機能」と表現しております。そのような意図があるため、ここは「機能」という形でそのまま置かせていただきたいと思います。</p>
会長	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
会長	<p>別紙2の21ページの施策体系が横向きで見にくいです。これは縦にできませんか。一番上に「基本構想」があって、その下に「将来像」があって、一番下に政策が5つぶら下がっているみたいな並べ方というのはできないですか。</p>
事務局	<p>「将来像」は横で並べて再整理をします。</p>
会長	<p>基本構想については、中の細かい言い回しや表現方法については改めて検討する必要があると思います。</p>

	<p>今日の審議会では、別紙2を「基本構想」の最終に近い案ということでご了解をいただき、委員長と事務局預かりにし、細かい文言については少し手直しをします。そのうえで最終的に議会に上程する内容は改めて皆様にお示しをして、その後議決を得るという手続きで進めていきます。</p> <p>南澤委員からも、構成が悪いということよりも、1つ1つの言葉の意味合いの定義を明確にしてほしいということだと思いますので、私と事務局とで調整をし、進めさせていただきたいと思います。</p>
	<p>〈【資料3】～【資料8】まで説明〉</p>
事務局	<p>資料6について、事例の枠を示しています。実際に市で既に実施している事業や、これから進めようとする事業が、まだこの枠の中に書き込まれていない状態です。市として実際にこの4年間でどうしていくかというのはこれからの議論になります。そういう状況のものをご理解ください。</p> <p>ここではこの枠の作り方として、何かご指摘やアドバイスがあれば教えていただきたいと思います。</p>
D委員	<p>資料7で「重点プロジェクト」とわざわざ括弧書きをされているので、分かりやすく示されているのかと思いましたが、ぱっと見で何を重視しているのかが分からにくいです。例えば、「重点プロジェクト」というページを作って、ひとつひとつ項目で示すとわかりやすいと思いました。</p>
B委員	<p>参考資料3は、黒丸が入っているところが関係深いことを示していると理解しているのですか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
B委員	<p>私の協議の分野で言えば、政策目標4の「いつまでも健康で安心して暮らせるまちづくり」のところを見ると、ソーシャルキャピタルのところには全く黒丸が入っていません。社会共通資本は、ソーシャルキャピタルが大きく影響していると、10年くらい前から本がたくさん出ています。逆に言うと、ソーシャルキャピタルが、質よく蓄積されると、健康や長寿とか幸福度につながる「ということです。健康分野の注目はソーシャルキャピタルなのです。健康に対して、ソーシャルキャピタルが関係していないことに、いささか満足しません。</p> <p>有名な人で言えば、イチロー・カワチという人が関係する著書をたくさん書いています。エビデンスも書いています。そういうものを参考になさって、ぜひこういうまちがあってほしいなと思いますので、少し検討を加えていただければと思いました。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。参考にさせていただきます。</p>
E委員	<p>参考資料3の政策目標5内の林業に関して、目標指標が木材価格ということになっていますが、木材価格は社会情勢や気候、需要・供給などが起因して変動するため、努力して上がるものではないと思います。木材価格を目標にするのはどうかと</p>

事務局	<p>思うのですが、いかがでしょうか。</p> <p>木木材価格の部分は、所得を上げていかないといけないという意味合いで入れさせていただきました。決まった指標ではないので、ご意見も踏まえてもう一回精査をして検討させていただきます。</p>
D 委員	<p>資料5に関して、これは各課から上がってきたものを取りまとめたものでしょうか。ここに載せておかないと国の補助金に当たらないとか、そういったところも絡んでくるのだと思うのですが、そこを今から財政課等と協議しながらつくっていくという認識でよろしいですか。</p>
事務局	<p>はい。再度、庁内で確認しながら作業を進めていきます。</p>
D 委員	<p>その結果が10月に示されるというスケジュールですか。</p>
事務局	<p>はい。10月に素案の方を提出させていただきますので、再度見ていただければと思います。</p>
D 委員	<p>わかりました。よろしくお願いします。</p>
会長	<p>資料6の18ページについて、外国人の方の居住促進ということなのかもしれませんが、ここでは技能実習生の数が代表目標指標になっていて、取組も、技能実習生が対象になっているのですが、安芸高田の外国人居住というのは技能実習生をメインターゲットに「重点プロジェクト」として進めるという理解でいいのでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。その理解で整理を進めているところです。</p>
会長	<p>ということは、安芸高田市で住民登録されている外国人の方は圧倒的に技能実習生の方が多いいという理解でいいですか。</p>
事務局	<p>全国的には結婚されて、こちらに住むことにした方が一番多いはずです。</p>
会長	<p>19ページの外国人アンケート調査結果について、サンプル数の1を出してしまうと誰か分かってしまうのではないのでしょうか。多い方から順にベトナム、インドネシア、ブラジルと続けて、一番下に「その他」で入れた方がいいのではないかなという気がします。整理の仕方を工夫いただければなと思いました。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p>
F 委員	<p>資料6の20ページに「若者に選ばれるまちづくり」という部分で、「外国人」というと技能実習生のことを指しているのかと思いますが、技能実習生は安芸高田市を選べないのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>ご指摘ありがとうございます。技能実習生は、最初は地域が選べないので、テーマのタイトルとそぐわないところがありました。修正をしていきたいと思います。どちらかと言えば、定住し続けるという意味合いの方が強いです。</p>
F 委員	<p>定住することすら、技能実習生にとって選択肢は非常に狭いです。それは特定技能の枠の場合の10年間は分かりますが、定住の選択肢も私は非常に少ないと思います。</p>
会長	<p>少なくとも外国の方がおられるのは事実なので、その方々に対して住みやすいまち</p>

	にするというのは、間違いないと思います。「選ばれる」とか「定住」というところにつながるのかどうかはまた別問題だと思いますので、引き続き行政内での認識を検討していただければと思います。
D 委員	技能実習生の後に「特定技能」というビザに切り替えたら、自分で職を選べます。「定住」がどういう定義なのかというのがあるのです。3年住んだら定住なのか、5年住んだら定住なのか、もう一生住まないと定住にならないのかという議論があります。安芸高田市に特定技能実習生として、あと5年いたいと望まれる方もおられます。それを定住というのであれば、私はそこに向けた施策をするのには意味があると思います。
B 委員	資料6の19ページのアンケートの結果は、ベトナム人のところを見ると、5年未満だったら定住意向がありますが、5年以上住んでいる人は定住意向が少なくなるという理解をしたらいいのですか。長く住めば、だんだん嫌になるみたいな話ですか。ほかの国は違います、ブラジルなどは逆に定住したいというように読めるのですか。
事務局	見せ方が良くなかったかもしれないですが、5年未満と5年以上で、5年以上の方のサンプル数が少ないというのもあり、横の割合で見えています。横で見ているので、必ずしも5年以上の人が、定住意向が低いということではないです。5年未満に絞って、「定住意向あり・なし」と比較すれば良かったかと思います。つなげて見せてしまったことが混乱を招いていると思います。
B 委員	つまり、アンケート結果をこのように置けるということは、ここから政策、あるいは目標設定をつくっていくということ、このデータだということになるとすると、政策目標やKPIをどこにつくるのかという話になるので、これからどう解釈するかという説明が要るのではないかと思います。
事務局	表が適切ではなかったので、適切なものをきちんと対応づけて整理していきます。
	〈安芸高田市人口ビジョン（たたき台）【資料9】〉
会長	人口ビジョンについて、資料は理解できました。総合戦略の中で関係人口を取り上げていますが、関係人口と人口ビジョンの関係はどのように整理をしていけばよろしいでしょうか。
事務局	関係人口は、移住の一手手前の段階として総合戦略の中で位置づけています。人口ビジョンにその観点が入ってきていないので、今後、再整理をさせてください。
会長	個人的には、人口ビジョンに関係人口を含めるべきだと思います。そのような自治体の例があまりないので、果たしてそれが良いのか悪いのかということについては議論をいただきたいです。いろいろな人が安芸高田市に関心持って来てくれているというように考えれば、賑わいが維持できる可能性があるのではないかと思います。安芸高田市の将来にとって、関係人口はとても重要だと思いますので、人口ビジョンの中にも触れる必要があるのではないかと思います。事務局でもご議論いただければと思います。
事務局	「基本構想」については、本日のご意見を反映し、9月議会に上程します。

今後は、会長と事務局の間で確認作業を行い、微修正等を行ってまいります。
最終案は、再度委員の皆様にお示しさせていただければと考えておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。
最後に、次回の会議日程です。
次回の会議は 10 月 3 日（金）午後 3 時～午後 5 時で、場所は本日と同じ小ホールとなります。
また、日程が近づき次第、ご案内いたします。
それでは、以上をもちまして、本日の審議会を閉会いたします。長時間にわたりまして、ご協力ありがとうございました。

以上